



～ここは東京丸の内にある運用会社「一寸アセットマネジメント」～
 今日も“ちょっと”気になる巷の出来事が話題
 一寸アセットマネジメントのとある一日
「世界の成長産業！観光ビジネス」 (第43号)

ここは東京丸の内の運用会社（一寸アセットマネジメント）のある日の昼休み。
 マルチリサーチ部のメンバーは、日頃“ちょっと”気になる出来事で雑談中です。

・今日の雑談メンバー

- 部長・・・運用から営業まで、この道ひと筋30年の大ベテラン。仕事のみならず家事も大得意。
- N課長・・・運用経験あり。人脈が広く、あらゆる情報をキャッチ。気になるワードはメモに書きとめる。
- A係長・・・最近気になるキーワードは「自動運転」「ブロックチェーン」。

○部長



会社近くの東京駅ではほんと最近1年中、外国人観光客の姿を見かけるよね。季節を問わず訪日外国人観光客がいっぱいだよ。

最近では、着物を来て小旗を持ったガイドさんが“観光客ご一行様”を皇居へご案内なんて光景も見られますからね。

A係長



ここ数年、訪日外国人旅行者数の増加や「爆買い」などは頻りに報道され、すっかりお馴染みになった気がします。今年も9月までで訪日外国人旅行者数は約2,200万人と言われます。

N課長



○部長



報道などから日本の観光産業ががんばっているのはわかるのだが、そもそも世界の観光産業はどうなんだろうね？今後の日本の経済成長のためにも非常に気になるところだけど。

2016年外国旅行者数ランキング

単位：万人

順位	国/地域名	外国人旅客者数
1	フランス	8,260
2	米国	7,560
3	スペイン	7,556
4	中国	5,927
5	イタリア	5,237
6	英国	3,581
7	ドイツ	3,557
8	メキシコ	3,496
9	タイ	3,258
10	トルコ	-※
参考	日本	2,403

※2016年データは未確定。2015年データは3,947万人

2016年国際観光収入ランキング

単位：百万ドル

順位	国/地域名	国際観光収入
1	米国	205,940
2	スペイン	60,346
3	タイ	49,871
4	中国	44,432
5	フランス	42,481
6	イタリア	40,246
7	英国	39,615
8	ドイツ	37,433
9	香港	32,860
10	オーストラリア	32,423
参考	日本	30,678

出所) 世界観光機関データをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

まず、海外旅行者数は各国の経済発展に伴い、確実にその数は増加しているそうです。またこれまで、欧米や北米中心だった訪問先も多様性に富んだものになっているそうです。



1950年当時は世界でも2,500万人程度だった海外旅行者数は年々増加し、2016年には12億3,500万人の旅行者が世界中を訪れているようです。



O部長 (O Director)



それはすごいね。ビジネスとしてはどうなの？確か旅行サービスは世界の財・サービス輸出総額の約7%を占めていて、今や12兆ドルを超える市場なんて聞いたことがあるけど。

A系長 (A Chief)



輸出品目としては化学やエネルギーに次いで3番目の規模とのこと。新興国にとっては重要な産業で、トルコでは名目GDP(国内総生産:2014年)の約4割を占めると言われます。

N課長 (N Section Chief)



まだまだ日本は訪日外国人旅行者数では世界のトップ10の国々には及びません。国際観光からの収入であればトップ10に迫る位置まで来ているようです。今後の成長に期待ですね。

A系長 (A Chief)



まさに成長産業ですね。さらに成長させるには、もっと多くの人に来てもらわないといけないのか・・・。どうすればもっと旅行者数は増えるんでしょうか？

N課長 (N Section Chief)



うーん、やはり観光地としての魅力を示す上でわかりやすいのは、世界遺産登録数かな。海外旅行者数の多い国は世界遺産登録数も多い傾向がありそうだよね。

O部長 (O Director)



日本も最近は文化庁などの働きかけで積極的に世界遺産の登録数増加を目指しているけど、「日本の魅力」を世界にアピールするには、確かに有効かもね。

A系長 (A Chief)



渋谷駅前のスクランブル交差点が外国人には珍しくて、大変な「人気観光地」だと聞いたことがあります。いっそのこと世界遺産登録を目指してみたら？と思ってしまいます。(笑)

世界遺産登録件数ランキング

順位	国/地域名	件数	順位	国/地域名	件数
1	イタリア	53	6	インド	36
2	中国	52	7	メキシコ	34
3	スペイン	46	8	英国	31
4	フランス	43	9	ロシア	28
5	ドイツ	42	10	米国	23
			参考	日本	21

文化・自然・複合遺産の合計件数。2017年7月（第41回世界文化遺産委員会開催）時点
出所）各種報道資料等をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。